



くらなび農園



～9月は秋・冬野菜の準備～

9月6日（日）雨

今日は鯖江市の事業「によきによき青空ファーマー教室」の2回目。あいにくの雨降りの中、8家族（大人10名、子ども8名、幼児2名）が参加されました。

まず、園芸アドバイザーの大門優先生から、資料に基づいてプランターでの野菜作りの楽しみや注意点などをお話いただきました。「野菜作りは畑よりプランターの方が難しいです。根っこが張れるところが限られているので。」と、しょっぱなから野菜作りのハードルが高くなっちゃいました。でも、水や肥料のやり方の注意点、虫がつきにくいように、また虫がついた場合の駆除の仕方など、丁寧にお話いただきました。

そして、いよいよ実技です。雨の中、参加者が協力して、スコップや手で床土に有機肥料やもみ殻などを水をかけながらよく混ぜ、良質な土をつくりました。プランターに土を入れてから、種（こかぶ、青梗菜、レタス）を選んで、指で穴を開けて種を植え、種が隠れる程度に覆土しました。

水をやり過ぎないように、追肥を与え過ぎないように気をつけて、病気や虫にも気をつけて…。結構気を遣うプランターでの野菜作りですが、収穫できたときの喜びもありますから、みなさん、がんばってくださいね。

プランターでの野菜作り講習の後は、鯖江環境アドバイザーの梶山順子先生による、ダンボールコンポストの作り方を教わりました。「福井食べきり運動」の紙芝居もしていただき、生ごみを減らして、出た生ごみも肥料にしましょう、と呼びかけました。エコネットさばえさんのご協力もいただき、生ごみコンポストのモニターに申し込みいただいたファミリーには、ダンボールコンポスト資材一式が無料で配られました。



土と肥料などをよ〜く混ぜて。



こかぶ、レタス、青梗菜、好きな野菜の種を選んで植えました。



園芸アドバイザーの大門先生。



鯖江環境アドバイザーの梶山先生。



生ごみを入れてもくさくないね。

9月のみんなでの活動は1回でした。管理人さんが中心になって、合間に畑の草刈りをしていただきました。

10月のくらなび農園は、メインイベントのひとつである稲刈り（予定日：10月11日）とさつまいも掘りがあります。鯖江市の委託事業「家族でによきによき青空エコファーマー」のご家族も一緒です。「おにぎらず」もつくります。雨が降っても実施しますよ。